

〔例題 1〕 家畜・家禽の品種とその特徴に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ガーンジー種は、イギリス海峡諸島のガーンジー島を原産とする乳用牛である。ジャージー種と同様に、フランスのノルマン種とブルトン種が基礎となったが、ジャージー種に比べて体格はやや小型で、乳量も少ない。
2. 日本短角種は、我が国の東北地方北部の南部牛に、アバディーンアンガス種を交配して作出された肉用牛である。毛色は黒色で、体格は和牛のうちでは大型である。粗飼料の利用性に優れ、山地放牧に適している。
3. ランドレース種は、デンマークを原産とする典型的なベーコンタイプのブタである。毛色は白色で、胴伸びは良く、後軀はよく発達し、腿の充実も見られる。と体は長く、脂肪は薄く、赤肉との割合は適度である。
4. ザーネン種は、スイスのベルン地方を原産とする褐色の乳用種のヤギである。雌の体型は長方形で、頭はやや長めで額は広く、有角である。雌雄ともに毛髯を有する。
5. 横斑プリマスロック種は、アメリカでドミニーク種にコーチン種を交配して作出された卵肉兼用種のニワトリである。羽色は黒白横斑で、鶏冠はバラ冠である。卵殻は赤褐色で、就巢性をもつ。

〔正答 3〕

〔例題 2〕 採卵鶏の生産指標に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ヘンデイ産卵率とは、一定期間における総産卵個数を、その期間に生存していた鶏の延べ羽数で除したものをいう。
2. 飼料効率とは、一定期間に消費された飼料量を、その期間の総産卵重量で除したものをいう。
3. 50%産卵日齢とは、ある鶏が一生涯に生産した総産卵個数のうち、半数を産卵した時点の日齢をいう。
4. ハウユニットとは、卵の鮮度を表す指標であり、平板上に割卵したときの卵黄の直径を計算式に代入して求める。
5. 産卵日量とは、ある日の総産卵重量を、その日に産卵した鶏の羽数で除したものをいう。

〔正答 1〕